

令和7年度データサイエンス・ベーシックプログラム

外部評価報告書

1. カリキュラムについて

当該プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」において、リテラシーレベルに認定されている。このため、当該プログラムのカリキュラムは文部科学省が定めるリテラシーレベルの内容を教育しているかについて、当該科目の構成科目である次の科目のシラバスで点検を行った。

- データサイエンス総論 I
- データサイエンス総論 II
- エンジニアのためのデータサイエンス入門
- データサイエンス概説

点検の結果、データの基礎的な扱い方や統計的考え方、データ活用事例の理解など、文部科学省が示すリテラシーレベルの学修内容が概ね含まれていることが確認された。また、授業においては、各教員が専門分野に応じた具体的事例を取り上げるなど、学生の関心を高める工夫がなされていることも確認された。

一方で、カリキュラムの導入においては、数式に対する抵抗感を持つ学生への配慮が課題として指摘されており、より身近なデータ活用事例や生成 AI に関する話題を活用するなど、学習への動機付けを高める工夫が求められる。

なお、生成 AI に関しては、本プログラムにおいて基礎的な内容を取り扱うとともに、実践的な演習については別授業「生成 AI 実践演習」において十分に実施されていることが確認された。

2. 履修状況について

新潟大学では、一学年の入学者数が約 2,300 名であるのに対し、データサイエンス・ベーシックプログラムの修了者数は約 1,600 名規模となっており、全体として多くの学生が当該プログラムを履修・修了していることが確認された。一方で、学部間における履修率には差が見られ、特に人文社会科学系学部において履修者数が相対的に少ない状況が指摘された。この背景として、学生の数式に対する抵抗感が履修行動に影響している可能性が示唆されており、授業内容や導入方法の工夫が求められている。また、文系学生における履修率の向上は引き続き重要な課題であると認識された。

文部科学省は、全国すべての大学生等に対してリテラシーレベルのデータサイエンス教育を実施することを目標としていることから、今後も全学的な履修促進に向けた取組を継続し、特に文系学部における履修者の拡大を図ることが望まれる。

3. 成績評価および授業評価アンケートの結果について

データサイエンス・ベーシックプログラムの構成科目について、成績分布および授業評

価アンケートの結果に基づき点検を行った。

成績評価については、「データサイエンス総論Ⅰ・Ⅱ」および「エンジニアのためのデータサイエンス入門」、「データサイエンス概説」など複数クラスで開講されており、いずれの科目においても合格率は高く、合格者の平均点は概ね 80 点台後半から 90 点前後に分布していることが確認された。また、成績分布においても 80 点以上の割合が高く、全体として適切な学修成果が達成されていると評価できる。

授業評価アンケートについては、多くの科目において、学生は受講マナーを守って授業に参加しており、教員の説明は明瞭で、授業内容も整理されていて理解しやすいとの評価が得られている。また、シラバスに示された到達目標についても、多くの学生が達成できたと認識しており、授業全体に対する満足度も概ね高い水準にあることが確認された。

一方で、「学生が積極的に議論や協同作業に取り組むこと」や「教員が学生の発言を促す工夫」に関する項目については、他の項目と比較して評価が低い傾向が見られた。このため、今後は担当教員間で授業方法に関する情報共有を進め、学生の主体的な学びを促す授業改善に取り組むことが望まれる。

4. まとめ

令和7年度データサイエンス・ベーシックプログラム外部評価のまとめとして、以下のとおり報告する。

当該プログラムのカリキュラムは、文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルの学修内容を適切に含んでいることが確認できた。また、全学的に多くの学生が履修しており、本学におけるデータサイエンス教育が広く浸透していると評価できる。

成績評価においては、合格率が高く、平均点も概ね良好であり、学生が到達目標に沿った学修成果を達成していることが確認された。授業評価アンケートにおいても、授業内容の分かりやすさや教員の説明の明瞭さ、到達目標の達成度について高い評価が得られている。

一方で、学生の主体的な学びを促す授業方法については改善の余地があり、授業担当教員間での情報共有を進めるとともに、授業方法の工夫を図ることが望まれる。

以上より、当該プログラムは全体として適切に運用されていると評価できるが、今後も履修者数の拡大と授業改善に継続的に取り組むことが求められる。

令和8年3月31日

データサイエンス教育プログラム外部評価委員会